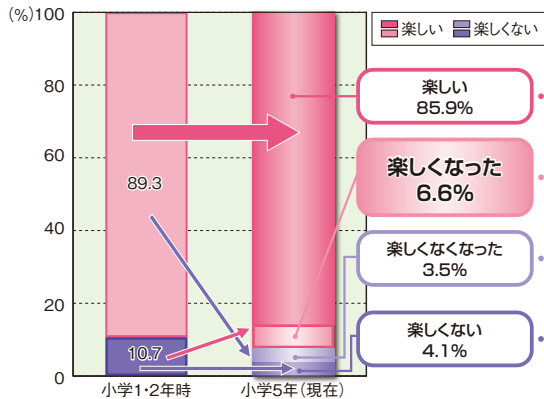


## 4. 「体育の授業が楽しくなった」児童と、体育の授業についての意識との関連

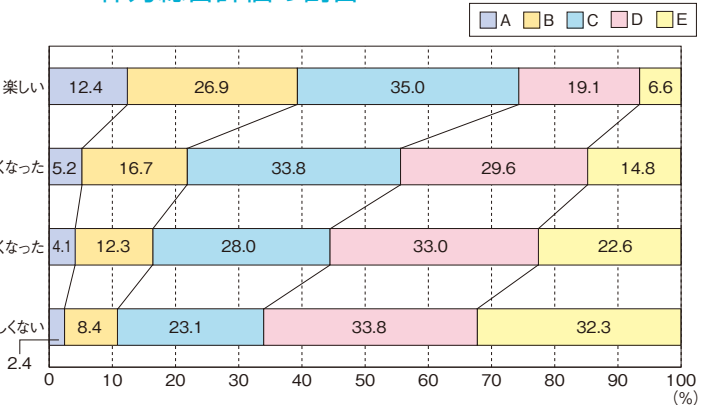
### 1 | 男子の特徴

- ① 「体育の授業が楽しい」に対して、「小学1・2年時から小学5年（現在）」の回答の推移は、「楽しい」ままが85.9%、「楽しくない」ままが4.1%であった。
- ② 「体育の授業は楽しい」に対する回答の推移別に体力総合評価を比較すると、「楽しい」、「楽しくなった」が、「楽しくなくなった」、「楽しくない」に比べてA・B層の割合が高かった。

#### 〈1〉「体育の授業が楽しい」の回答の推移



#### 〈2〉「体育の授業が楽しい」の回答の推移別にみる体力総合評価の割合



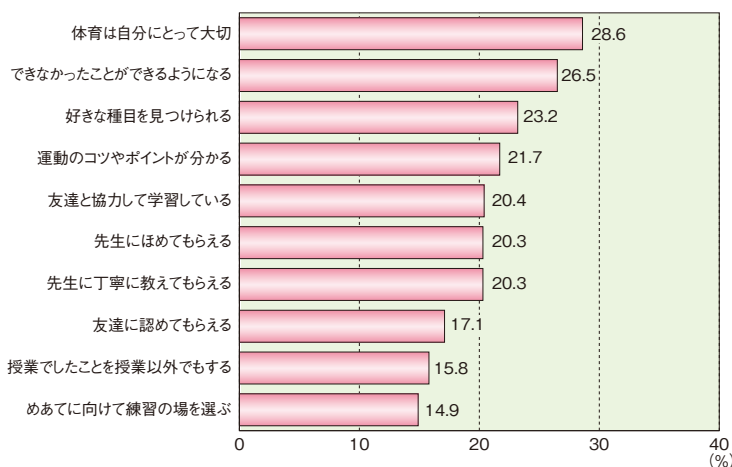
#### 〈3〉体育の授業についての意識と、「体育の授業が楽しくなった」割合との関連

※体育の授業についての意識に関する質問項目で、過去（小学1・2年時をふり返って）と現在（小学5年）で比較可能な項目を対象に、双方肯定的回答をした児童、双方否定的回答をした児童、肯定的回答から否定的回答に変化した児童、否定的回答から肯定的回答に変化した児童のうち、「体育の授業は楽しい（楽しかった）」について、小学1・2年時では否定的に回答をし、小学5年で肯定的に回答した（楽しくなった）児童の割合を、「決定木分析（10ページ参照）」の手法を用いて分析した。

- ① 「体育の授業が楽しくなった」割合が高かったのは、「体育は自分にとって大切」、「できなかったことができるようになる」、「好きな種目を見つけられる」に対して、それぞれ小学1・2年時では否定的に回答をし、小学5年で肯定的に回答した（思うようになった）場合であった。
- ② 複数の質問項目の組み合わせにおいて、「楽しくなった」割合は、「体育は自分にとって大切」、「できなかったことができるようになる」、「好きな種目を見つけられる」の3つの質問項目すべてについて「思うようになった」場合が、60.0%と最も高かった。

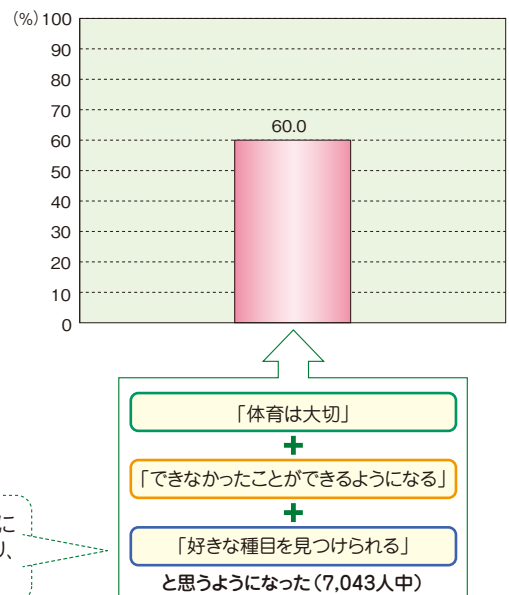
### 体育の授業が「楽しくなった」割合

#### ●体育の授業についての項目(思うようになった)別



体育の授業が楽しくなったのは、小学5年男子全体(539,385人)では6.6%であったのに対し、「体育は大切」と思うようになり、かつ、「できなかったことができる」と思うようになり、かつ、「好きな種目を見つけられる」と思うようになった7,043人中では、60.0%であった。

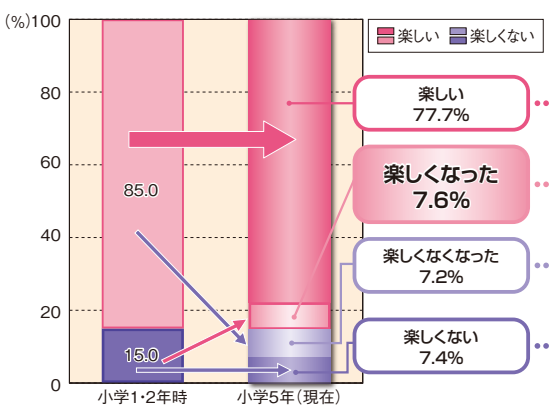
#### ●体育の授業が「楽しくなった」割合が最も高くなる組み合わせ



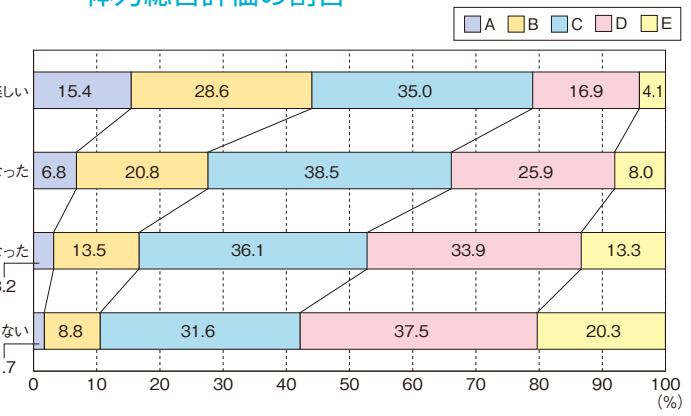
## 2 | 女子の特徴

- ① 「体育の授業が楽しい」に対して、「小学1・2年時から小学5年（現在）」の回答の推移は、「楽しい」ままだが77.7%、「楽しくない」ままだが7.4%であった。
- ② 「体育の授業は楽しい」に対する回答の推移別に体力総合評価を比較すると、「楽しい」、「楽しくなった」が、「楽しくなくなった」、「楽しくない」に比べてA・B層の割合が高かった。

〈1〉「体育の授業が楽しい」の回答の推移



〈2〉「体育の授業が楽しい」の回答の推移別にみる体力総合評価の割合



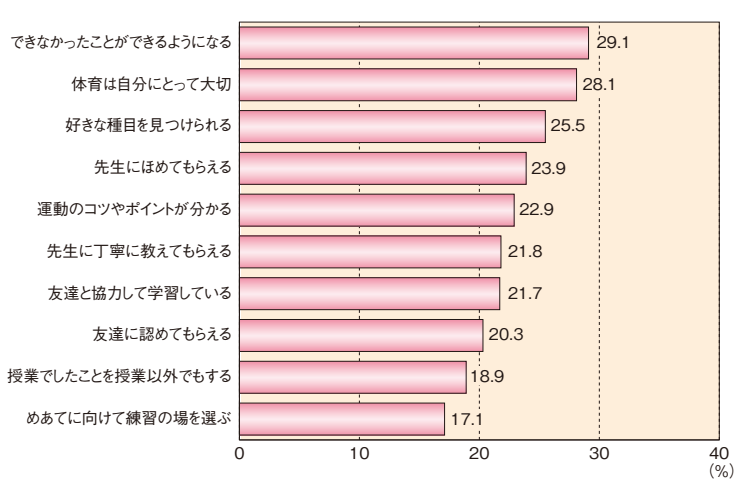
〈3〉体育の授業についての意識と、「体育の授業が楽しくなった」割合との関連

※体育の授業についての意識に関する質問項目で、過去（小学1・2年時をふり返って）と現在（小学5年）で比較可能な項目を対象に、双方肯定的回答をした児童、双方否定的回答をした児童、肯定的回答から否定的回答に変化した児童、否定的回答から肯定的回答に変化した児童のうち、「体育の授業は楽しい（楽しかった）」について、小学1・2年時では否定的に回答をし、小学5年で肯定的に回答した（楽しくなった）児童の割合を、「決定木分析（10ページ参照）」の手法を用いて分析した。

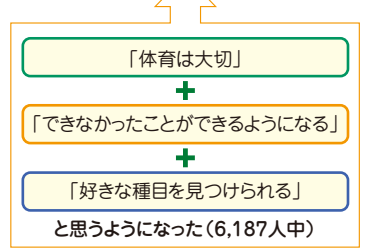
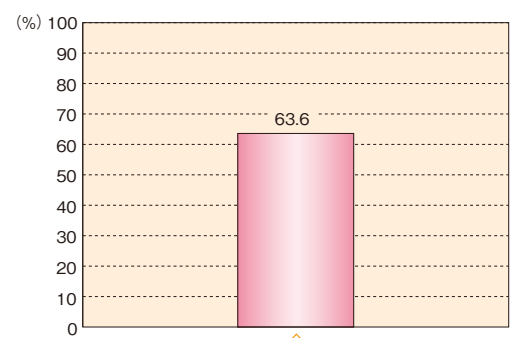
- ① 「体育の授業が楽しくなった」割合が高かったのは、「できなかったことができるようになる」、「体育は自分にとって大切」、「好きな種目を見つけられる」に対して、それぞれ小学1・2年時に否定的に回答をし、小学5年で肯定的に回答した（思うようになった）場合であった。
- ② 複数の質問項目の組み合わせにおいて、「楽しくなった」割合は、「体育は自分にとって大切」、「できなかったことができるようになる」、「好きな種目を見つけられる」の3つの質問項目すべてについて「思うようになった」場合が、63.6%と最も高かった。

### 体育の授業が「楽しくなった」割合

● 体育の授業についての項目(思うようになった)別



● 体育の授業が「楽しくなった」割合が最も高くなる組み合わせ



体育の授業が楽しくなったのは、小学5年女子全体(522,859人)では7.6%であったのに対し、「体育は大切」と思うようになり、かつ、「できなかったことができる」と思うようになり、かつ、「好きな種目を見つけられる」と思うようになった6,187人中では、63.6%であった。